

第70回全国高等学校バスケットボール選手権大会静岡県予選

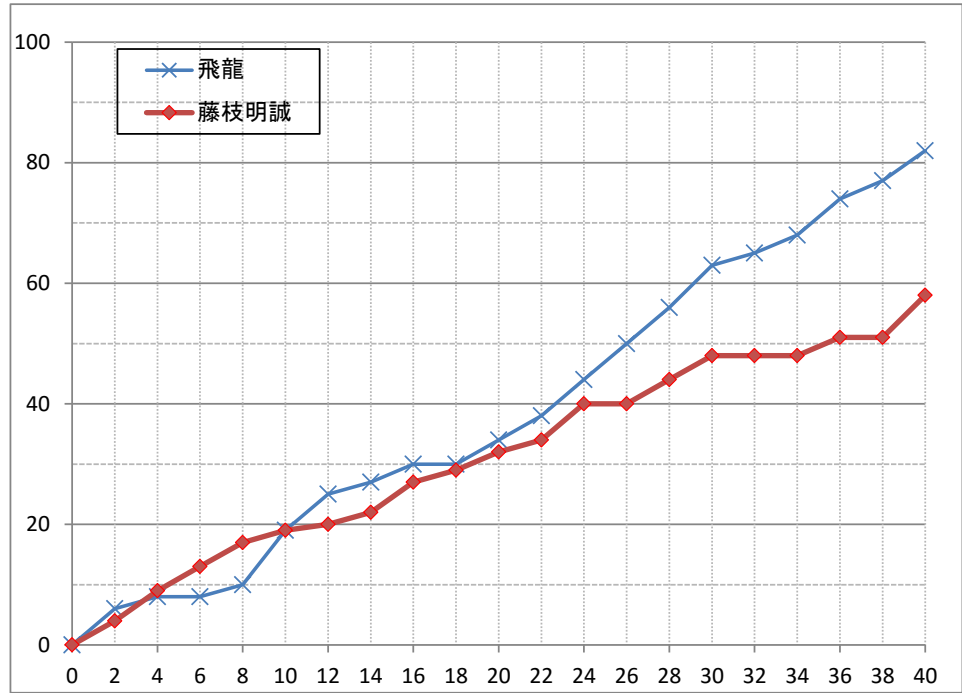
決勝	
試合日	2017年11月12日
会場	静岡県武道館
コート	Zコート
開始時間	13:30

TEAM A		TEAM B	
飛龍 (東部)	82	58	藤枝明誠 (中部)
	19 - 19		
	15 - 13		
	29 - 16		
	19 - 10		
	OT		

TEAM A 飛龍 (東部)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	伊東潤司	21	5	2	2	5
5	*	松下裕汰	18	0	7	4	1
6		金井星也	6	1	1	1	3
7	*	牛島宗揮	0	0	0	0	1
8	DNP	西尾昂也	0	0	0	0	0
9		関屋心	17	1	6	2	1
10		原田未央	0	0	0	0	0
11		杉本諒	0	0	0	0	0
12	*	杉山裕介	7	1	2	0	1
13		亀山竜矢	0	0	0	0	1
14	*	奥村大翔	8	0	3	2	3
15		リュウヤハオ	0	0	0	0	0
16		石川歩	0	0	0	0	1
17		原千容	2	0	1	0	0
18	DNP	色山輝	0	0	0	0	0
19	DNP	大塚惟央	0	0	0	0	0
20	DNP	大武海斗	0	0	0	0	0
21		山村祥太郎	3	1	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	/
TOTAL			82	9	22	11	17

TEAM B 藤枝明誠 (中部)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	高木卓也	9	0	1	7	4
5		豊田裕大	1	0	0	1	1
6		菊地広人	0	0	0	0	1
7		中尾涼太郎	0	0	0	0	0
8		張新鋒	6	0	3	0	4
9		中坪崇斗	3	0	1	1	1
10		浜本健	5	1	1	0	2
11	DNP	松本凌汰	0	0	0	0	0
12	DNP	角野俊伍	0	0	0	0	0
13	DNP	押金紘輔	0	0	0	0	0
14	DNP	中谷陸人	0	0	0	0	0
15	*	SEKOU DOUCOURE	17	0	6	5	5
16	*	浅見晴	2	0	1	0	1
17	*	野口嶺	3	0	1	1	3
18	*	中村和磨	12	4	0	0	0
19	DNP	馬場龍翔	0	0	0	0	0
20	DNP	高野敢太	0	0	0	0	0
21	DNP	鈴木翔	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	/
TOTAL			58	5	14	15	22

【得点経過】



【戦評】

1PD 飛龍はオールコートマンツーマン、藤枝明誠は2-3ゾーンで始まる。開始早々、飛龍④伊東の2連続3Pで試合の流れを引き寄せたかに見えたが、藤枝明誠も⑮SEKOUの高さを活かしたプレイで主導権を渡さない。一進一退の攻防が続く中、先手を取ったのは藤枝明誠。⑮SEKOUを中心としたプレイで徐々に点差を広げる。しかし⑮SEKOUが3回目のファウルでベンチに下がると一気に飛龍に流れが傾く。飛龍⑤松下の闘志あふれるプレイで19-19に追いつき、第1ピリオド終了。

2PD 飛龍⑫杉山⑨関屋の3Pで波に乗るかと思われたが、藤枝明誠⑧張の高さを活かしたプレイで応戦する。飛龍④伊東が3回目のファウルでベンチに下がると藤枝明誠に流れがいくが、飛龍⑨関屋のドライブや3Pなどでのしぎ、34-32の飛龍2点リードで前半終了。

3PD 気迫のこもったドライブ、リバウンドシュートを見せる飛龍⑤松下に引っ張られるように飛龍の選手がゴールにアタックしていく。飛龍⑭奥村がゴール下で気合いの入ったプレイで加点していくと、アウトサイドからも飛龍⑥金井の3Pが入り、試合の流れは完全に飛龍へ。さらに藤枝明誠⑮SEKOUがファウルアウトし、さらに点差が広がる。63-48で飛龍がリードしたまま第3ピリオド終了。

4PD 飛龍⑤松下⑨関屋のドライブが冴え渡る。2人からの合わせなど気持ち良くプレイし点差を広げていく。対する藤枝明誠はマンツーマンとゾーンのチェンジングディフェンスで活路を見出そうとするが、オフenseでのフィニッシュが入らず、意気消沈。終始、飛龍のペースで試合が進み、最後はスタメン5人を全員ベンチに下げる余裕を見せて82-58で飛龍が優勝を決めた。

戦評(文責) 佐々木雅隆(城南静岡高校) 記入者 加藤初音・石上茉莉有香(焼津中央高校)